

意見書案第10号

消費税インボイスの中止を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出する。

令和4年12月19日提出

提出者
向日市議会議員 米重健男

賛成者
向日市議会議員 丹野直次
〃 杉谷伸夫
〃 飛鳥井佳子

消費税インボイスの中止を求める意見書

インボイス「適格請求書」制度が開始されることに当たり、自営業者などから不安の声が上がっている。消費税納税を免除されていた小規模事業者や個人事業主に新たな税負担がのしかかる。これまで事業者は、お客様から受け取った消費税から仕入れにかかった消費税を差し引き納税するが、インボイスを使って納税することが義務づけられ、登録番号が記録されることになる。

しかし本制度が、「複雑でよくわからない。」「事務負担に対応できない。」といった声が半数に及んでいる。さらには新型コロナ感染の長期化などで収入が減って苦境に立つ事業者に追い打ちをかける。

「景気が好転するまで凍結すべき。(全国中小企業団体中央会)」「制度の準備に取りかかれる状況にない。凍結すべき。(日本商工会議所)」「制度の導入を実施しないこと。(中小企業家同友会)」など経済団体、業界団体も中止・延期を要請している。多くのクリエイター、フリーランスも納税者になることから、納税が困難になり廃業に直面することで業界縮小が起こる事態を招きかねないことを危惧するものである。

よって、次の事項について強く要望する。

記

- 1 国民の不安を受け止め消費税インボイスは中止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和4年12月19日

京都府向日市議会